

オヤノコト.エキスポ2010にて開催



キーワードは親孝行!!

会期 2010年7月17日(土)、18日(日)10:00～17:00
会場 東京国際フォーラム展示ホール(東京都千代田区丸の内3-5-1)
後援 全国福祉用具専門相談員協会

「福祉用具個別援助計画書」 「モニタリングシート」を使った福祉用具の公開事例検討会

会場 東京国際フォーラム展示ホール セミナールーム

主催 全国福祉用具専門相談員協会

講師 加島 守 氏(高齢者生活福祉研究所 所長)

開催日時 7/17(土)・18(日) / 12:00～13:00

新しいコンセプト「そろそろ親のこと…」というテーマで開催される「オヤノコト.エキスポ2010」。親のことを心配しながらも、何をしたらいいのかわからない、30代から50代の「子供たちの世代」を対象に、離れて暮らしている親のために「今なにかできるか」を伝えるための企画イベントです。従来のシニアマーケットでは、「親」のみを対象にした商品・サービスの開発が進められていましたが、このイベントでは「親のことが心配になってきた子供世代」を主なターゲットに、必要な情報を的確に提供するというアプローチで、日本では初のイベントとして注目を集めています。「子供世代」が、親孝行をするための応援をするというこの試みは、今年で3年目を迎え、メディアや社会でも評価が高まっています。ふくせんでもこの新しい考え方のイベントの趣旨に賛同して後援しています。そして、ワークショップで親の自立のためにとても大切な福祉用具の、効果とその選定と利用のための公開事例検討会を行います。事例検討会は、福祉用具サービスの質の向上に欠かせないツールとして、いま話題の「福祉用具個別援助計画書」「モニタリングシート」を使った企画です。子供世代の方々はもちろん、ケアマネジャーや専門職の方にも、福祉用具の選定方法が正しく理解できる内容です。ぜひご参加ください。

講師プロフィール

加島 守 氏 [かしま・まもる]

高齢者生活福祉研究所所長。理学療法士。社会福祉法人新栄会滝野川病院にて医療ソーシャルワーカーとして勤務。その後、社会医学技術学院理学療法科に通いながら、至誠学舎特別養護老人ホーム緑寿園に勤務。資格取得後は越谷市立病院に勤務、財団法人武蔵野市福祉公社・武蔵野市立高齢者総合センターを経て高齢者生活福祉研究所を設立、現在に至る。「住宅改修アセスメントのすべて」(三和書籍)など著書も多数。本会の福祉用具個別援助計画書「モニタリングシート」(試行版)の開発にも携わる。



●オヤノコト.エキスポ2010開催事務局
<http://www.oyanokoto-net.co.jp>

●当協会HP
<http://www.zfssk.com/>

●会場案内● 東京国際フォーラム
JR 線「有楽町」駅より徒歩1分、「東京」駅より徒歩5分 / 地下鉄「有楽町」「銀座」「日比谷」「二重橋」「京橋」各駅より徒歩5～7分

●ご連絡・お問い合わせ

全国福祉用具専門相談員協会

TEL:03-3443-0011 FAX:03-3443-8800
〒108-0074 東京都港区高輪3-19-20 高輪OSビル9階 MAIL:info@zfssk.com